



養 監 第 6 3 号  
令和 2 年 2 月 25 日

養父市長 広 瀬 栄 様  
養父市議会議長 深 澤 巧 様

養父市監査委員 守 本 英 昭

養父市監査委員 藤 原 芳 巳

財政援助団体等の監査結果について（報告）

地方自治法第 199 条第 7 項の規定により、財政援助団体等の監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果を報告します。

令和元年度

財政援助団体等監査結果報告書

令和2年2月

養父市監査委員

## 第1 監査の種別

財政援助団体監査（地方自治法第199条第7項による監査）

## 第2 監査の対象

### 1 監査団体

一般社団法人 やぶ市観光協会 理事長 三田文雄  
やぶ市観光協会 会長 三田文雄

### 2 監査の範囲

平成30年度及び令和元年度に交付した補助金

## 第3 監査実施日

令和2年1月28日（火）

## 第4 監査の概要

養父市が交付した補助金等が、その目的及び条件に沿って執行されているかに重点を置き、事前に関係書類の提出を求め、これに基づき所管部局及び当該団体から事情を聴取し、監査を実施した。その他、市が当該団体に委託した業務についても同様に監査した。

### 1 調査内容

#### (1) 所管部局関係

- ア 補助金に係る条例・要綱等の整備
- イ 補助金の決定に係る条例・要綱等の準拠
- ウ 補助金の効果及び要件の履行確認
- エ 補助事業の評価検証
- オ 委託業務の執行状況

#### (2) 団体関係

- ア 団体の規約及び財務等諸規定の整備状況
- イ 団体の活動状況
- ウ 補助事業の執行状況
- エ 関係帳票の整備、記帳、領収書等証拠書類の整備と保存
- オ 現金、預金通帳、公印の管理
- カ 会計経理及び財産管理状況

## 第5 監査の結果

### 1 団体の状況

やぶ市観光協会は、養父市及び観光諸団体と連携して地域に所在する景勝地・史跡などの宣伝と観光客の誘致に努め、交流人口の増大及び観光事業の振興を図り、もって地域経済の発展と生活・文化の向上に寄与することを設立目的とし、地域の魅力発信と交流人口拡大の取組を実践している。

当団体は、自ら積極的な収益事業を行い、自立・自走できる組織を目指し、平成 25 年に一般社団法人やぶ市観光協会として法人格を取得したが、昨今のスキー人口の減少や高速道路の延伸など地域の観光を取り巻く厳しい環境の変化により、当初描いたような事業展開には至らず、法人税や会計処理に必要な経費など、法人格を有するがゆえに生じる固定費が負担となり、平成 31 年 3 月 31 日に一般社団法人の解散を決議した。同年 4 月 1 日からは法人の事業及び財産を全てやぶ市観光協会が引き継ぎ任意団体として活動している。

本協会は 6 つの支部から構成されている。平成 30 年度末の会員数及び令和元年度の収支予算は以下のとおりである。

#### 平成 30 年度会員数

(単位：会員)

区 分		会 員 数
やぶ市観光協会		159
内 訳	八鹿支部	41
	養父支部	27
	大屋支部	22
	氷ノ山鉢伏支部	34
	ハチ高原支部	26
	東鉢支部	9

#### 令和元年度収支予算

(単位：円、%)

区 分	科 目	金 額	構 成 比
収入	会費	942,000	3.8
	市補助金	3,500,000	14.0
	委託料	18,340,368	73.7
	繰越金	1,799,828	7.2
	事業収入	140,000	0.6
	雑収入	177,632	0.7
	計	24,899,828	100.0

(単位：円、%)

区 分	科 目	金 額	構 成 比
支出	事務局費	13,683,908	54.9
	誘客活動費	5,726,993	23.0

	支部活動費	3,500,000	14.1
	負担金	145,000	0.6
	予備費	243,928	1.0
	消費税等	1,599,999	6.4
	計	24,899,828	100.0

## 2 活動状況

当団体は、全体収入の 87.7%を市の補助金と委託事業が占めており、活動の主な財源を市に依存している。

平成 30 年度と令和元年度の主な事業は、やぶ市観光協会支部事業、やぶ市観光案内所運営委託、やぶ市シティプロモーション事業委託、定額タクシー事業委託等、市の補助事業や委託である。

平成 30 年度末の養父市観光交流人口は 145 万 2,800 人で、対前年度比 8 万 2,600 人減少している。北近畿豊岡自動車道が日高神鍋高原 IC まで延伸したことなどの要因から平成 29 年度以降減少傾向が続いている。

監査対象期間の補助金及び委託業務の概要は以下のとおりである。

(単位：円)

年度	事業名	交付決定額または契約額
平成 30 年度	やぶ市観光協会支部事業補助金	3,441,500
	やぶ市観光案内所運營業務委託	5,167,000
	やぶ市シティプロモーション事業委託	12,080,000
	定額観光タクシー事業委託	1,002,420
	合計	21,690,920
令和元年度	やぶ市観光協会支部事業補助金	3,500,000
	やぶ市観光案内所運營業務委託	5,550,459
	やぶ市シティプロモーション事業委託	13,098,175
	定額観光タクシー事業委託	1,120,370
	合計	23,269,004

平成 30 年度は実績額、令和元年度は監査日時点の決定（契約）額

## 3 監査意見

### (1) 所管部局について

ア 委託契約書・補助金等の関係書類に、日付・住所・印鑑などに不備が散見されたため、指導し修正を求めた。担当課は、書類等のチェックを厳格に行い、不備の発生防止に努められたい。

イ 6 支部が行う観光交流人口 200 万人を目標にした活動に対して補助金を支出しているが、十分な成果とは言えない状況である。

補助事業の実施に当たっては、適正な成果検証を行うとともに、当団体との緊密な情報交換により、養父市全体の観光行政を見据え

たさらなる連携を推進されたい。

(2) 対象団体について

- ア 調査した限りにおいて、出納関係帳票の整備、記帳は概ね適正に処理されていた。また領収書等の証拠書類の整備、保存についても、概ね適正に処理されていた。
- イ 委託契約書・補助金等の関係書類に、日付・住所・印鑑などに不備が散見されたため、指導し修正を求めた。
- ウ 養父市の観光行政の在り方・方向性について、市と当団体の間で認識の温度差を感じた。両者はしっかり連携して養父市の観光振興に取り組まされたい。
- エ 各支部の活動は、それぞれの位置づけが本部や市のベクトルとの共通認識がないように見受けられた。養父市の観光を担う組織としての役割を果たせるよう、連携を図られたい。
- オ 一般社団法人から任意団体への移行に伴う設立総会の未実施など、諸手続の遅れについて、早急に是正されたい。